



足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎(3880)5996(直通)
http://www.gikai-adachi.jp No. 257

第257回臨時会

再生紙を使用しています

新しい議会構成決まる

議長に馬場 信男議員 就任

副議長にあかし 幸子議員 就任

平成25年第1回臨時会 会議のあらまし

足立区議会は、5月30日に、平成25年第1回臨時会(会期1日)を開会しました。

議長・副議長決まる

渡辺ひであき議長、うすい浩一副議長の辞職に伴い、議長・副議長選挙が行われ、議長に馬場信男議員が、副議長にあかし幸子議員がそれぞれ当選就任しました。

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の委員構成決まる

議長の指名による、常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任のほか、特別委員会委員の辞任に伴い、新たな委員を選任しました。

その後、各委員会で委員長・副委員長の互選が行われました。

議会選出監査委員選任に同意

議会選出監査委員の新井英生議員、たがた直昭議員の監査委員退職に伴い、後任監査委員と

就任のあいさつ



議長 馬場 信男



副議長 あかし 幸子

私たちは、平成25年第1回臨時会において議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。その責務の重さに、身の引き締まる思いであり、区政のさらなる進展と円滑な議会運営のために、全力を尽くしてまいります。長期の低迷に苦しむ日本経済ですが、今年に入って、主要経済指標などに改善傾向が見えてきました。しかし、その明るさが区財政に波及するには時間が必要と思われます。区は孤立ゼロプロジェクト、



区議会議長選挙 開票の様子

して、しのはら守宏議員、きじまてるい議員の選任同意が区長より求められ、議会はこれに同意しました。

農業委員会委員を推薦

議会推薦農業委員、鈴木進議員の農業委員の辞任に伴い、後任農業委員として、高山延之議員を推薦しました。

特別委員会の報告

(要旨を2面に掲載)

可決した区長提出議案

特別区道路線の認定について

- 所在地①扇二丁目地内
- ②古土合本町二丁目地内
- 幅員①六・〇〇〇〜六・〇一m
- ②四・五〇m
- 延長①五一・三七m
- ②五四・八八m

報告

訴えの提起について

区営住宅の使用料を滞納し、使用許可を取り消された相手方に対し、建物の明渡しや使用料未収金の支払等を請求するもの。

議決を得た契約の変更

足立区立加平小学校新築工事

ほか2件

足立区議会委員会委員名簿

(平成25年6月1日現在)

委員会名	委員氏名 (◎:委員長 ○:副委員長)	委員会名	委員氏名 (◎:委員長 ○:副委員長)
総務委員会 (定数8名)	◎吉岡 茂 ○長井 まさのり ○ぬかが 和子 古性 重則 前野 和男 渡辺 ひであき 浅古 みつひさ おぐら 修平	交通網・都市基盤整備調査特別委員会 (定数11名)	◎鹿浜 昭 ○金沢 美矢子 ○浅古 みつひさ 白石 正輝 伊藤 和彦 加藤 和明 くじらい 光治 たきがみ 明 あかし 幸子 鈴木 あきら 長井 まさのり
区民委員会 (定数7名)	◎いいくら 昭二 ○鈴木 進 ○たがた 直昭 しのはら 守宏 さとう 純子 きじま てるい へんみ 圭二	子ども施策調査特別委員会 (定数11名)	◎前野 和男 ○さとう 純子 ○渡辺 ひであき 鈴木 進 藤 沼 壮次 洲上 隆 鈴木 けんいち うすい 浩一 岡 安 たかし 市川 おさと 金田 正
産業環境委員会 (定数7名)	◎たきがみ 明 ○鈴木 あきら ○金田 正 せぬま 剛 くじらい 光治 金沢 美矢子 はたの 昭彦	災害・オウム対策調査特別委員会 (定数11名、欠員1名)	◎せぬま 剛 ○はたの 昭彦 ○長谷川 たかこ 鴨下 稔 高山 延之 いいくら 昭二 ぬかが 和子 たがた 直昭 くぼた 美幸 ただ 太郎
厚生委員会 (定数8名)	◎白石 正輝 ○鴨下 稔 ○岡 安 たかし 浅子 けい子 鈴木 けんいち 佐々木まさひこ 馬場 信男 ただ 太郎	生活保護・高齢者生きがい対策調査特別委員会 (定数11名)	◎浅子 けい子 ○古性 重則 ○小泉 ひろし しのはら 守宏 針谷 みきお きじま てるい 佐々木まさひこ 新井 英生 吉岡 茂 おぐら 修平 へんみ 圭二
建設委員会 (定数7名、欠員1名)	◎くぼた 美幸 ○伊藤 和彦 ○加藤 和明 あかし 幸子 高山 延之 市川 おさと		
文教委員会 (定数8名)	◎藤沼 壮次 ○針谷 みきお ○洲上 隆 小泉 ひろし 鹿浜 昭 うすい 浩一 新井 英生 長谷川 たかこ		
議会運営委員会 (定数13名)	◎くじらい 光治 ○うすい 浩一 ○新井 英生 古性 重則 たきがみ 明 針谷 みきお 前野 和男 鈴木 あきら 吉岡 茂 長井 まさのり ぬかが 和子 浅古 みつひさ 金田 正		

「議員(候補者等を含む。)からの寄附は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。」

たとえば、お祭り・運動会・親睦旅行会・会合等の行事や、入学式・卒業式の行事に対し、寄附・お祝い・差し入れ等をすることが禁じられています。

また、個人に対して、お祝い金(入学・卒業等)・贈り物(お歳暮・お中元等)をすることも禁じられています。

なお、例外的に罰せられない行為として、議員本人が持参する結婚祝い・香典があります。

区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

特別委員会の中間報告（要旨）

今臨時会において、交通網・都市基盤整備調査特別委員会、子ども施策調査特別委員会、災害・オウム対策調査特別委員会及び生活保護・高齢者生きがい対策調査特別委員会が中間報告を行いました。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会

報告の要旨は次のとおりです。

都市交通施策について

区総合交通計画に基づき、バス事業者と協議を重ね、バス路線の整備、公共交通空白地域の解消を進める必要があります。

北綾瀬駅の整備について

駅改良に向けて、東京地下鉄株式会社と連携していくとともに、進捗状況を注視する必要があります。

竹ノ塚駅付近の鉄道高架化及び都市基盤整備について

高架化工事では、鉄道事業者との連携、国や都の協力を得て、早期完成を目指すことに加え、着実な事業進捗に向け財源確保に努めなければなりません。



また、高架化等の工事の影響を考慮しつつ、引き続き地域住民と協議を重ね、安全・安心で利便性の高いまちづくりを推進していく必要があります。

鉄道路線の強化等について

次期交通政策審議会答申に向けて、地下鉄8号線区内延伸が実現するよう、引き続き国や都への要請活動の促進に加え、PR活動等により地域住民の機運を高めていくことが重要です。

また、東北縦貫線直通列車の北千住駅停車に向け、今後も、JR東日本に対し要望活動を継続していくことが肝要です。

UR花畑団地再生事業の推進・周辺地区のまちづくりについて

団地及び周辺地区の活性化の取り組みに関し、UR都市機構やまちづくり協議会と引き続き協議していく必要があります。

本特別委員会は、鉄道及びバス路線の誘致・拡充等の活動を推進しつつ、都市基盤の整備を充実に向け、引き続き調査研究を続けていく必要があります。

子ども施策調査特別委員会

本特別委員会は、「子どもの健全な成長」「子育て支援」に関すること等について調査研究を進めてきました。

待機児童対策について

地域や施設による需要と供給の相違が生じており、待機児童の状況や、今後も増加が見込まれる保育需要数を踏まえた対策が求められています。各地域に



おける需要の実態に応じた保育施設の整備とともに、保護者に対して様々な保育サービスの周知と利用を図り、総合的な待機児童対策を行うこととしました。施設整備の到達率で課題も残しました。今後も、目標に沿った保育施設の整備や、きめ細やかな情報提供が、待機児童解消に向けた重要課題となります。

子ども支援について

「あだち5歳児プログラム」の実践結果を検証し、小1プロブレム解消のためにさらなる充実を図ることが、期待されます。

児童保育室においても、地域ごとの需給バランスを分析し、将来予測を考慮しながら、待機児童解消に向けて取り組んでいく必要があります。

子育て支援の環境整備について

「こども支援センターげんき」には、子どもに関する総合相談窓口として、関係機関との連携を密にし、様々な問題の解決に向けて迅速な対応を講じることが求められています。

平成25年4月にリニューアルオープンしたギャラクシティは、学び、遊び等を通じて子どもの成長を支える複合施設として、さらに発展していくことが望まれます。

本特別委員会は、足立区の未来を担う子どもたちが健やかに

災害オウム対策調査特別委員会

本特別委員会は、災害・オウム真理教（アレフ）・放射線対策に関すること等について調査研究を進めてきました。

災害対策について

北千住駅で実施した帰宅困難者対策訓練の検証結果を踏まえ、今後は駅前滞留者対策推進協議

放射線対策について

区民からの通報による区有施設の放射線量確認及び低減措置の実施等、区は継続して対策を講じています。

一方で、今後新たな知見が発表されることも予想されます。国等の動向を注視しながら、対策を進めていく必要があります。

生活保護・高齢者生きがい対策調査特別委員会

本特別委員会は、生活保護の適正実施及び高齢者の生きがい対策等に関する調査研究を進めてきました。

この制度は、生活困窮者に対し、程度に応じた必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長を目的として運用されています。生存権を保障する上で必要不可欠な制度である一方、様々な課題も指摘されています。

本特別委員会は、足立区の未



本会議の様子

生まれ育つ環境が整備されるよう、引き続き調査研究を進めていく必要があります。

地域防災計画について

委員提案の防災区民組織の強化、女性の視点に立った取り組み、減災のための密集市街地整備・建物耐震化促進、被害想定の見直し、第二次避難所に対する

る備蓄・人的支援等について、様々な形で地域防災計画の改訂に反映されました。今後は、本計画に沿った実効性ある取り組みが求められます。

オウム（アレフ）対策について

係争中の2事件は未決着であり、勝訴に向けて万全の対応を行っていく必要があります。

また、住民協議会の抗議行動の継続や、不動産譲渡等の制限等を求める要請書を国に提出する等、引き続き「オウム（アレフ）断根反対」を明確に表しています。今後も、毅然とした姿勢で臨まなければなりません。

生活保護・高齢者生きがい対策調査特別委員会

本特別委員会は、生活保護の適正実施及び高齢者の生きがい対策等に関する調査研究を進めてきました。

この制度は、生活困窮者に対し、程度に応じた必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長を目的として運用されています。生存権を保障する上で必要不可欠な制度である一方、様々な課題も指摘されています。

本特別委員会は、足立区の未



稼働年齢層の受給増による収入申告漏れの未然防止策と発覚後の対策として、委員から、警察との連携や住民通告を活かす仕組みづくり、不正受給監視職員の配置等の提案がありました。医療扶助における頻回受診等への、より抜本的な取り組みとして、後発医薬品の使用原則化、医療費の自己負担徴収、医師会等との連携が提案されました。厳しい雇用環境、生活保護基準額より低い最低賃金による就業意欲の低下や、受給が数世代にわたる「貧困の連鎖」には、中間的就労の場の提供、NPOとの連携、学習支援プログラム等の拡充、能力に応じた福祉的就労の活用が提案されました。

また、国の生活保護制度見直し等と合わせ、区生活保護適正実施協議会の議論を注視すると同時に、引き続き積極的に提言を行うことが求められます。

孤立ゼロプロジェクトについて
調査を行う人たちに對するイオンセンターの付与、調査手法について提案がありました。

また、訪問活動、寄り添い支援を拒否する高齢者への、生命を守るための取り組みについて問題提起されました。

本特別委員会は、建設的な議論をより一層重ね、調査研究を続けていく必要があります。

会派役員の紹介

足立区議会自由民主党

幹事長 古性 重則
副幹事長 吉岡 茂
同 金田 正

足立区議会公明党

団 長 たきがみ 明
幹事長 前野 和男
副幹事長 うすい 浩一

日本共産党足立区議団

団 長 針谷 みきお
幹事長 ぬかが 和子
副幹事長 さとう 純子

足立区議会民主党

幹事長 鈴木 あきら
副幹事長 おぐら 修平

足立区議会みんなの党

幹事長 浅古みつひさ

編集後記

例年より早く梅雨入りした関東地方ですが、少雨の傾向が続き、今夏の水不足が心配されています。暮らしの中での節水を心がけたいものです。

さて、各会派役員の変更に伴い、広報委員会は次のとおり構成となりました。今後も、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに努めて参ります。

(議 長) 馬場 信男
(副 議 長) あかし 幸子
(議 会 運 営 委 員 長) くじらい 光治

古性 重則 岡安 たかし
吉岡 茂 針谷 みきお
金田 正 ぬかが 和子
たきがみ 明 鈴木 あきら
前野 和男 浅古みつひさ